

マチガ沢県連雪上技術訓練

報告者：県連救助隊

1. 日時：2014年4月5日（土）10：00～13：00
2. 場所：谷川岳・マチガ沢出合
3. 講師/県連救助隊員：吉田副隊長、徳永副隊長、神山副隊長、渡辺(理)、住田、古畑、井本

4. 講習内容：

- (1) 雪上での二支点工作（スノーバー、ピッケル、ショベル、デッドマン等を使用した）
（写真2）

【注意点】

a) 埋設方法：スリングのかけ方、向き、特に支点との開き角度 30° ～ 60° くらいにして、

角度が開き過ぎるとロープに負担がかかり強度不足となります。

b) 実際にロープをつないで支点外れやズレがないか強度を確認のこと。

c) 積雪に雪質によっても支点強度は異なります。

- (2) メインロープセルフ

【注意点】

a) 確保時などメインロープを使用して、セルフビレーを必ず・速やかに行うこと（掛け替え数が減るため）。

- (3) マルチピッチ（ツルベ式）

a) 実演デモ グリップビレーによる滑落停止（写真1）

- (4) ヒトココの紹介（製品情報 <http://www.authjapan.com/>）

【特長】

a) 従来の雪崩ビーコンとの互換性はありません。ヒトココは特定（親機・子機）のIDをサーチします。

b) 行方不明者を「距離と方向」で表示・誘導します。

c) 電波飛距離が広範囲（100m～5km）

d) 活用シーンとして、山岳、日常生活（ショッピング、遊園地・公園、駐車場・車探し、高齢者の見守り）などが考えられます。

- (5) その他

各講習については、短時間でしたが参加団体各チームが30分程度（全4チームに分かれ）、講習・解説・注意点などをさせていただきました。皆さん大変熱心に聴講していただき、また実習にも積極的に参加いただきました。本当にありがとうございました。各会に持ち寄り、山での事故ゼロ作戦の一助にいただければ幸いです。

《お願い》各講習技術内容は、各会・各自の繰り返しトレーニング、習熟し安全面に配慮してくれぐれも、事故のないようご留意してください。



写真1. グリップビレーと滑落停止



写真2. 二支点工作

以上